

## 自閉的傾向をもつ発達遅滞幼児のグループ指導の一研究

—人間関係にはいった場合の行動変化について—

研究第8部 川島杜紀子  
家庭指導グループ 岡田十起子

問題：当研究所の精神発達遅滞幼児の治療教育グループには、いわゆる自閉的傾向をもった発達遅滞幼児が含まれている。治療教育グループでは普通、幼児8名の集団につき2名の指導者が指導を行っているが、ここ数年間の経験から、自閉的傾向をもつ発達遅滞幼児の指導には、他の子どもと同様の集団経験だけでは充分でなく、行動の変化も少いことに気がついていた。そこで今回は自閉的傾向をもつ発達遅滞幼児を入れた場合、2名の担当者とは別に、特に1名の指導者が毎回約1時間を担当して集団の中でその子どもと個人的な人間関係をもつような指導を行う試みをした。その結果、これらの子どもたちに相当の行動変化が見られたように思われた。これを客観的に検討するために、一例について個人的に接触をする前、中、後に詳細な行動観察記録をとり、その行動の変化を明らかにすると共にその指導法について考察することにした。

対象児：当家庭指導グループには自閉的傾向をもった発達遅滞幼児は8名あり、そのうち今回の指導法が行なわれたのは4名で、その各々のCA、DQは第1表の通りである。なお本研究ではH・M児をとりあげて報告する。

第1表 対象児

なまえ	CA	DQ
N・S児	4才	48
H・M児	5才	測定不能
K・T児	5才	測定不能
K・H児	5才	30

## 方法：

個人的接触をする指導者をつけて後4週間後に、観察日を1日設け、① 個人的接触にはいる前——第1時間帯、② 個人的接触の最中——第2時間帯、③ 個人的接触の後——第3時間帯の三つの時間について、それぞれ

約20分ずつ、詳細な観察記録を行った。記録は、i 1名の記録者が筆記による客観記録をとる。ストップウォッチで1分ごとに時間を記載する。ii VTRで記録する。の二つの方法が同時にとられた。iii 次に筆記録者がVTRを見ながら、筆記記録を補った。

## 結果：

(1) 上記三つの時間帯の行動観察記録のうち、それぞれの時間帯で見られる行動の記録の一部を抜粋したのが第2、3、4表である。なお抜粋した記録は①子どものいる空間に指導者並びに他の子どもがいること、②ある活動を始めようとし、かつ活動が経過していく場面であることを条件にした。

この記録の抜粋から明らかなように、① 個人的接触にはいる前には、一人あそびである。② 個人的な接触の最中には、指導者との関係をもつあそびである。③ 個人的接触の後には、人との関係をもつあそびに対して積極的である。という行動の相異が見られる。

(2) 三つの時間帯での子どもの行動の中から、活動の種類によって分類し、その中でみられる主な行動をとり出したものが第5、6、7表である。

これによると、①②③の三つの時間帯での活動の内容に次のような相異が見られる。① 個人的接触にはいる前では、子どもの活動は、一人での活動が多い。活動の内容は、物との関係にある行動である。また、いわゆる常同行動が見られる。それに比べ、② 個人的接触の最中では、活動は指導者を必要とする活動である。その活動の内容は、人との関係による行動が多い。いわゆる常同行動は、ここでは見られない。③ 個人的接触の後の活動は、第2時間帯と変らない。特にここでは、他の人のすることに関心をもつ行動が見られる。

(3) 次にひとつの活動から次の活動に移行する時の行動をとり上げてみた。すなわち、まともあそびに落ちつくまでに子どもが何を求めるかを見るために、あそびからあそびに移る過渡的段階での行動をまとめたのが第8表である。

第2表 第1時間帯の記録の一部

時間	時間
0分	分
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ担当者の方をちらっと見て、棚の近くにあるタンパリンをとる。</li> <li>ひも（タンパリン）をもって振る。</li> <li>タンパリンを床におき、おもちゃ棚をさがす。</li> <li>パンツをいじっている。</li> <li>はめ板をとる。</li> <li>はめ板を裏返して見る。放る。</li> <li>はめ板をひろう。ほうる。</li> <li>はめ板の中に入れる△と□の板をとり、ほうる。</li> <li>下に落ちていたラップをとる。</li> <li>立って、ラップのひもをもち、振りながら歩く。</li> <li>ラップを椅子に2、3度あてる。</li> <li>ラップのひもをもち、振りながら歩く。</li> <li>グループ担当者の方を見る。歩く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あてる。</li> <li>ちょっと後を向く。</li> <li>体を左右に動かしながら、バランスボールにラップを2、3度あてる。</li> <li>ラップをもち、ひもをバランスボールに叩きつけるようにする。</li> <li>もう一度あてる。</li> <li>音がしない。</li> <li>ひもをもち、ラップをバランスボールに2、3度あてる。</li> <li>床にラップを2、3度あてる。</li> <li>バランスボールにラップを2、3度あてる。</li> <li>2</li> <li>汽車にラップを2、3度あてる。</li> <li>汽車の上ののっていたタオルをとり、放る。</li> <li>汽車の前部にラップを2、3度あてる。</li> <li>汽車の取手にラップを2、3度あてる。</li> <li>取手にさわる。</li> <li>汽車の後部にラップを2、3度あてる。</li> <li>2、3歩あるき、ラップを上下に振る。</li> <li>汽車の反対側に歩いていき、汽車にラップを2、3度あてる。</li> </ul>
1	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>ラップをバランスボールに、2、3度あてる。</li> <li>音がする。</li> <li>ラップをもち、ひもをたらす。</li> <li>ひもをバランスボールに叩きつけるようにする。</li> <li>音がしない。</li> <li>ひもをもち、ラップをバランスボールに2、3度</li> </ul>	

第3表 第2時間帯の記録の一部

時間	時間
0分	分
<ul style="list-style-type: none"> <li>H ・ラップを振りながら歩く。</li> <li>・机にラップを2、3度あてる。</li> <li>・外に行く。</li> <li>K T ・「おんもに行こうか」といい、ついてゆく。</li> <li>H ・はだして走って、二人のりブランコに行く。</li> <li>・ラップを下におき、ラップを見る。ブランコに坐る。</li> <li>K T ・Hの向い側にのる。ブランコをこぐ。</li> <li>・隣りのブランコに他の子どもがのっている。</li> <li>1 H ・横を向いて隣りの二人のりブランコが動くのを見ている。</li> <li>・動きに合わせて、笑いながら首が動く。</li> <li>・K Tの顔を見る。笑う。</li> <li>K T ・うたをうたい始める。</li> <li>H ・K Tの顔を見て笑う。</li> <li>K T ・歌いながらHの足にさわる。</li> <li>2 H ・ニコニコと笑いK Tの手を見ている。</li> <li>M子 ・K Tの手に砂をのせる。</li> <li>K T ・Hの方を向いて、たべるマネをする。</li> <li>H ・関心を示さず、隣のブランコを見る。</li> <li>K T ・うたを続ける。</li> <li>H ・手振りをするK Tの手を見ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>K T ・もう一度、うたをくりかえす。</li> <li>H ・笑いながら、隣りのブランコを見る。</li> <li>3 K T ・「おともだち、押してあげましょうね」と隣のブランコを押す。</li> <li>H ・隣りのブランコを見て笑う。</li> <li>・隣りのブランコの動きに合わせて、首を動かす。</li> <li>・のぞき込むようにして、隣りのブランコを見る。</li> <li>・自分のブランコに手をかけているK Tの手を押しつける。</li> <li>K T ・うた「手をたたきましょう」をうたい始める。</li> <li>H ・K Tの方に向く。</li> <li>・足ぶみするK Tの足を見ている。</li> <li>4 K T ・「アハハ、アハハ……」とうたう。</li> <li>H ・K Tの顔を見て、口を大きくあけ「アハハ……」のマネをする。</li> <li>・手を口元にあててK Tを見る。</li> <li>5 ・足ぶみするK Tの足を見ながらブランコの腰かけにのる。</li> <li>K T ・Hの足にさわる。</li> <li>H ・腰かけから背もたれにのる。笑っている。</li> <li>・笑いながら、K Tの顔を見ている。</li> </ul>

第4表 第3時間帯の記録の一部

時間		時間	
0分	H ・走って、グループ担当者MTのところへいく。 ・MTの足をひっぱる。 MT ・Hを抱いて、たいこ橋にのせる。 H ・たいこ橋からおりる。 ・走って、M子をのせてH夫が押しているトラックの後をついていく。 ・H夫、トラックから離れる。 M子 ・トラックをもちあげて、位置をかえる。 H ・M子を見ている。 M子 ・トラックから離れ、一人のりブランコにいぎのる。	分	・H子の足にさわる。 ・ニコニコ笑って、H子とOTを見る。 OT ・「H子ちゃんのアンヨよ」とHにいう。 ・ブランコの歌をうたい始める。 ・「Hちゃん、どうしたの、何だかお目々がちがうみたい」とHに話しかける。 H ・OTのかおを見る。ニコニコしている。 ・目をこするようには手をやり、隣りのブランコを見る。 ・隣りのブランコの動きに合わせて首を動かす。
1	H ・お腹のあたりをかいて、フラフラとその場でまわる。 ・M子の隣りのブランコにのり、こぐ。 M子 ・ブランコから離れる。 H ・ブランコを止め、又、2、3回こぐ。 ・ブランコからおり、二人のりブランコに走っていく。 ・二人のりブランコにグループ担当者OTとH子がいる。 H ・ブランコの砂をはらって、二人の向い側にのる。 OT ・「きれいきれいしてんのね」とHにいう。	3	OT ・うたを続ける。 H ・ブランコの下を見る。カメラを見る。 OT ・「むすんでひらいて」とうたう。 H ・Tの方を見る。抱かれているH子の足を見る。 OT ・「その手をどこ？」とたずねる。 H ・手をほったにやる。 OT ・「ほったに」 H ・手を叩いて笑う。 OT ・H子をゆさぶる。「いやですよ」と笑って。
2	H ・キョロキョロと何かを探そうにする。	4	H ・H子を見ながら、笑ってブランコの腰かけに立つ。 ・じっとH子を見ている。 ・おかしそうに声をあげて笑う。

第5表 第1時間帯での活動と主な行動

(◎ 主になっている行動—第5～7表)

活動の種類	活動の時間	子どもの行動	行動の対象
水での活動 (一人の活動)	3'	○水を出したり、止めたりする。 ○ながしに栓をして、水をためたり、栓を抜いたりする。 ○ながしに栓をして、水があふれるのを見る。 ○ながしの中に顔をつっこんで水を見たり、ながしから離れた所から見る。	物 物 物 物
絵本での活動 (一人の活動)	6'24"	◎絵本をとり絵本の紙を指ではじく。1回に3～60回のくり返し行動。常同行動 ○絵本をとり一枚一枚めくったり、片手でバラバラと早くめくる。 ○絵本の絵を見る。	物 物 物
タイコでの活動 (一人の活動)	1'24"	○タイコをころがして、壁、椅子、黒板にあてる。 ○タイコを叩く。	物 物
ラップでの活動 (一人の活動)	7'6"	◎ラップについているひもをもち、ラップを振る。または振りながら歩く。 ◎ラップのひもをもち、ラップを椅子、汽車、黒板、バランスボールにあてる。 ○ラップを振りながら、うたをうたう指導者の方を見て笑う。 ○ラップを振るのを止めて、指導者のうたをきく。	物 物 人 人

第6表 第2時間帯での活動と主な行動

活動の種類	活動の時間	子どもの行動	行動の対象
ラッパでの活動 (一人の活動)	1'	○ラッパのひもをもち、ラッパを振る。又は振りながら歩く。 ○ラッパのひもをもち、ラッパを机にあてる。	物 物
二人のりブランコでの活動 (指導者との活動)	11'	◎指導者と向い合わせにブランコに坐り、指導者にこいでもらう。 ◎指導者がうたう歌を聞いたり、指導者がする歌の手振りを見る。 ◎指導者のする歌の手振りに、手を叩く。 ◎指導者に身体をさわられて、指導者に笑いながら、ブランコの腰かけ等にする。 ○隣りのブランコの動きに合わせて、首を動かす。 ○ブランコの下を見る。 ○隣りのブランコに移る。	人と物 人 人 人 物 物 物
一人のりブランコでの活動 (指導者他の子ども)	7' 6"	○指導者にブランコに坐らせてもらい、こいでもらう。 ◎自分でブランコを止め、指導者の手をひき、ブランコに坐らせてもらい、こいでもらう。 ◎指導者が話しかける言葉に声をあげて笑う。	人と物 人 人

第7表 第3時間帯での活動と主な行動

活動の種類	活動の時間	子どもの行動	行動の対象
一人のりブランコ (一人)	30'	○ブランコに坐り、自分でこぐ。	物
二人のりブランコでの活動 (指導者他の子ども)	8'	◎指導者他の子どもの向い側に坐り、指導者にこいでもらう。 ◎指導者他の子どもがふざけているのを見て笑う。 ◎指導者や他の子どもがふざけて、Hにさそいかけると笑ったり、ブランコの腰かけ等にする。 ○他の子どもを見る。 ○指導者のうたう歌をきく。 ○歌の手振りをしたり、手を叩く。 ○隣りのブランコの動きに合わせて、首を動かす。 ○ブランコの下を見る。	人と物 人 人 人 人 人 物 物
マゴトコーナー の中での活動 (指導者他の子ども)	8'	◎他の子どもを見る。又は、他の子どもと指導者のしているのを見て笑う。 ◎指導者がうたう歌を聞く。指導者の歌の手振りを見る。 ○歌の手振りをする。 ○指導者がマゴトのコップでお茶をのむマネをするのを見る。 ○絵本を見る。 ○コーナーの壁板やスチームを叩く。 ○スチームの上ののぼり、とびおる。	人 人 人 人 人 物 物 物

第8表 活動から活動への過渡的段階での行動

行 動	第1時間帯	第2時間帯	第3時間帯
○あたりを見る。	3	0	3
○遊具のあるおもちゃの棚をさがす。	3	0	1
○指導者のいるところへいく。	0	0	2
○指導者の手をひいて、遊具のあるところへいく。	0	2	3
○他の子どものしていることを見る。	0	0	2

これを見ると、第2時間帯で移行段階の行動の数が少なく、それに比べ第3時間帯での数が多い。また第1、第3の時間帯では行動の質に相異があることが顕著である。これから考察されることは、① 個人的接触にはいる前では、子どもは遊具に次のあそびを求める。② 個人的接触の最中では、指導者がリードしているので、子どもの行動は少なく、子どもは指導者と遊具とを共に求めている。③ 個人的接触の後では、子どもは、指導者

を求める行動が多く、のみならず他の子どもの活動に目を向けている。

(4) 次に子どもが意識し関心をもっていることを示す行動の代表として「見る」行動をとり上げ、子どもの内面的感情の表現を示す行動の代表として、「笑う」行動をとりあげてみたのが第9、10表である。ここでは子どもが何をみているか、子どもがどんな活動を楽しんでいるかを考察する。

第9表 「見る」行動

見 る 対 象	第1時間帯	第2時間帯	第3時間帯
自分のいる場所より離れた方向やそこにある物	8	8	10
自分があそんでいるもの、あそびによって起っている現象	15	11	10
カメラ	7	0	1
指導者	9	18	19
指導者のしていること	0	0	1
他の子ども	0	4	31
他の子どものしていること	0	0	10

第10表 「笑う」行動

笑 う 行 動 の 内 容	第1時間帯	第2時間帯	第3時間帯
隣りのブランコを見て笑う。	0	2	1
指導者の働きかけで笑う。	4	19	11
他の子どもの働きかけで笑う。	0	0	3
他の子どもを見て笑う。	0	0	9
指導者と他の子どものしていることを見て笑う。	0	0	10
指導者と他の子どもに笑いかける。	1	1	2
計	5	22	36

㊦ 見る、行動では「自分のいる場所から離れた方向やそこにある物」「自分が遊んでいるものや、あそびによって起っている」現象を見る行動において、時間帯別の差は認められない。「指導者」「指導者のしていること」「他の子ども」「他の子どものしていること」を見る行動には、大きな相異が見られる。㊧の個人的接触の最中では、子どもは指導者の存在を意識し、指導者を見る事が多く、㊨の個人的接触の後も、それはひき続いている。また第3時間帯で特に著しい現れ方をしているのが、他の子どもを見る行動で、子どもは他の子どもの存在を意識し、他の子どものしていることに関心をしめしている。

㊦ 子どもが楽しんでいる客観的な現れ方として「笑う」行動をとり上げてみた。これによると第1時間帯に比べ第2、第3の時間帯で子どもは多くの楽しみを味わっている。では子どもが何で楽しんでいるかを見ると、㊧の個人的接触の最中では、指導者の働きかけで楽しんでいる。㊨の個人的接触の後では、指導者と他の子どもの働きかけで楽しんでいるだけでなく、他の子どもや、他の子どもと指導者のしていることを見て楽しんでいる。

(6) ㊦ この3つの時間帯における指導者の働きかけについて考察する。指導者の働きかけの頻度の内容を示したのが第11、12表である。これによると、第1時間帯で指導者の働きかけが少ないことがわかる。これは子ども8名に担当者2名のグループでは、各々の指導者のいる空間から、はずれる子どもがでてくる場合が起ることを示している。次に第2と第3の時間帯における働きかけの内容は、歌や歌の手振りによる働きかけ、遊具を使った動作による働きかけ、言葉の働きかけ、身体接触による働きかけがある。

㊦ 指導者の働きかけに対する子どもの反応について考察する。これによると、子どもは指導者の働きかけに対して、指導者の方を向く、または見て指導者を意識し、その働きかけに対して、笑ったり、自分も指導者の模倣をしたり、ブランコの上へのぼるなど受け入れる反

第11表 指導者の働きかけ

		第1 時間帯	第2 時間帯	第3 時間帯
指導者の働きかけ		3	30	33
働 き か け の 内 容	歌や歌の手振りによる	2	9	9
	遊具を使って動作による	0	7	11
	言葉による	1	9	11
	身体接触による	0	5	2

第12表 指導者の働きかけに対する子どもの反応

行 動	第1 時間帯	第2 時間帯	第3 時間帯
指導者を見る、または指導者の方に向く。	5	21	20
笑う。	4	19	11
歌の手振りをする。手を叩く。	0	2	4
ブランコの上へのぼる。	0	2	3
拒否する。	0	1	1

応をしめしており、拒否が少ない。

まとめ：

以上の五つの考察をまとめていえることは、個人的接触をする指導者がつくことによって、子どもは人との接触の楽しさを経験し、対人関係の行動の変化を示している。

以上のことから、自閉的傾向をもつ子どもを集団の中で個人的接触をする指導者が担当する方法は、対人的な行動変化に有効であると考えられる。

本研究は精神薄弱児総合研究の一部として、精神科担当研究員中沢たえ子と家庭指導グループとの協力のもとに行なわれている研究の中間報告である。

## A Study on Group Guidance of Young autistic Retarded Children

### —On Behavior Change before, during and after Special Treatment Session of Human Relationship—

Tokiko Okada

Tokiko Kawashima

This is a report of a research on behavior change when young autistic children had certain period of close contact with an adult as therapeutic treatment in group setting. This program was done in a therapeutic education project for young mentally retarded children of the Aiku Research Institute.

Method of Treatment: A therapeutic teacher keeps close contact with the particular autistic child for an hour at each group session that is consisted of seven other young mentally retarded children taken care of by two regular teachers.

Method of Study: In one random day, after two months' of treatment above, the child's behavior was observed and taken records by portable VTR instrument, before, during and after treatment session. The period of record was twenty minutes each. Table 2 to 4 show samples of transcribed records.

Results: Tables 5 to 7 show main activities of the child at each session. Table 8 show the kinds of activities at transient stages from activity to activity. Table 9 shows the kinds of objects "looked at" by the child. It shows the increase of looking at teachers, other children and activities of other children from before, during to after session.

Table 10 shows the items of "smiling and laughing", the total amount of which increases from 5 at before session to 22 at during and to 36 at after session. Thus, we could see the effect of close contact with a therapeutic teacher lasts even after session. We could introduce an autistic child into group setting through the treatment stage of human contact program of this sort.